

シーニックバイウェイルート指定

第22回 シーニックバイウェイ北海道推進協議会

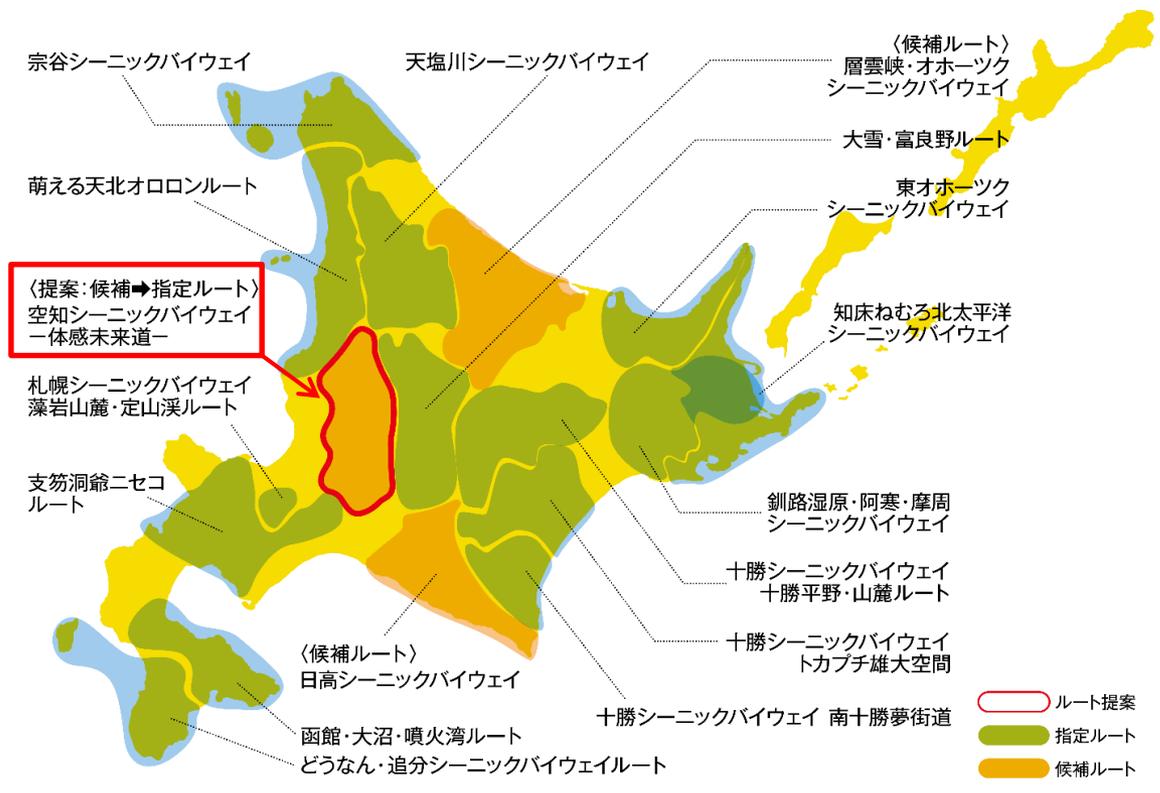
令和6年12月9日

シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
〈提案:候補→指定ルート〉 空知シーニックバイウェイ ー体感未来道ー	工藤 克彦 (くどう かつひこ)	NPO法人日本一直線 道まちづくり研究会	22	24

▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
R01.09.20	R04.12.22	知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイー体感未来道ー
R04.12.22		日高シーニックバイウェイ



シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート



シーニックバイウェイルート提案書

様式 1-1

令和6年9月2日

シーニックバイウェイ北海道推進協議会長 殿

空知シーニックバイウェイ
ルート運営代表者会議
代表 工藤 克彦 印

以下のとおり、シーニックバイウェイルートの提案を行います。

記

代表者名	工藤 克彦	
代表者の所属	NPO 法人日本一直線道まちづくり研究会	
代表者の住所	空知郡奈井江町字奈井江 171-34	
代表者の連絡先	電話 0125-65-5085	F A X 0125-65-5085
担当者名*	川田 孝志	
担当者の所属*	一般社団法人 空知建設業協会	
担当者の住所*	〒068-0028 北海道岩見沢市 8 条西 3 丁目 1-2	
担当者の連絡先*	電話 0126-23-1836	F A X 0126-25-2459
ルート名	空知シーニックバイウェイ-体感未来道-	
構成団体数	22 団体	
関係市町村名	沼田町、秩父別町、深川市、妹背牛町、滝川市、赤平市、歌志内市、上砂川町、奈井江町、芦別市、美瑛市、三笠市、夕張市、由仁町、長沼町、南幌町、栗山町、岩見沢市、月形町、浦白町、砂川市、新十津川町、雨竜町、北竜町 計 (24) 市町村	
提案の種類	<input checked="" type="checkbox"/> シーニックバイウェイルート	<input type="checkbox"/> シーニックバイウェイ候補ルート
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> ルート運営活動計画 <input checked="" type="checkbox"/> 関係市町村長の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 候補ルート登録時における付帯意見の対応表	<input type="checkbox"/> ルート運営活動計画の骨子
備考		

*代表者以外が連絡窓口となる場合には、担当者名の氏名・住所・連絡先もご記入ください。

以 上

様式 1-2

メインルート①

- ・国道 12 号 ・国道 38 号
- ・国道 233 号 ・国道 234 号
- ・国道 274 号 ・国道 275 号
- ・国道 337 号 ・国道 451 号
- ・国道 452 号

メインルート②

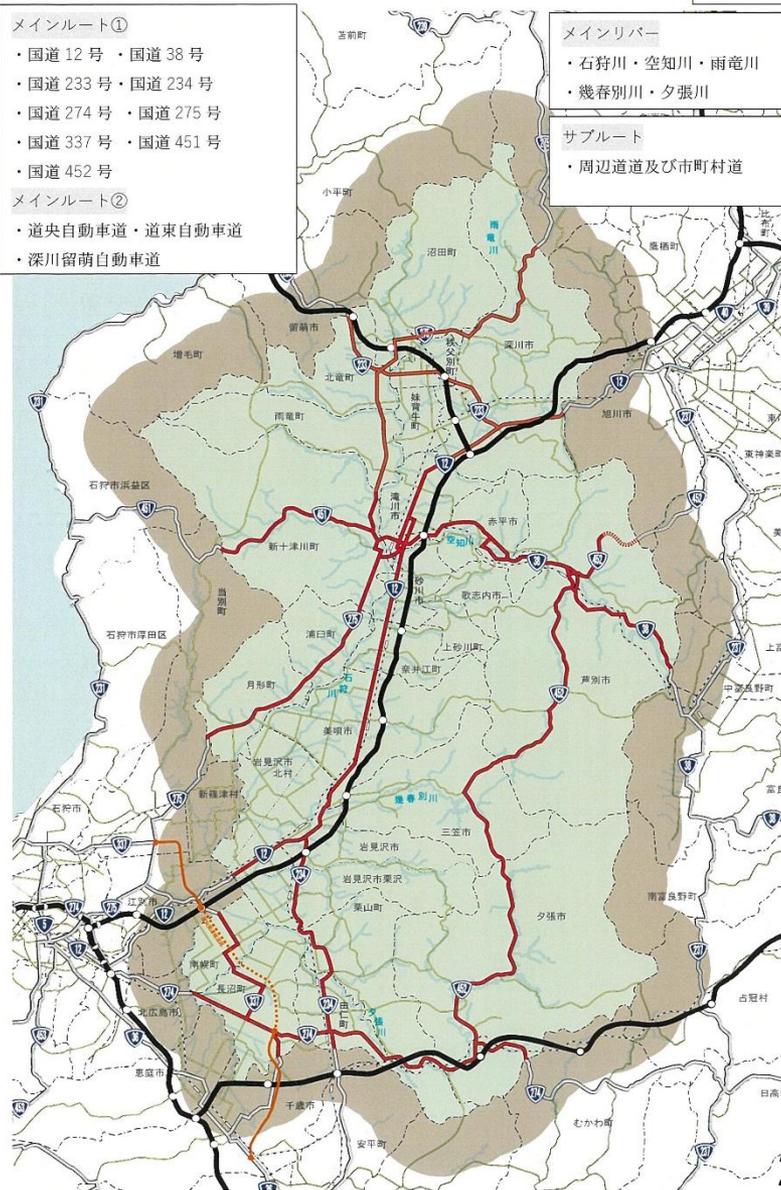
- ・道央自動車道 ・道東自動車道
- ・深川留萌自動車道

メインリバー

- ・石狩川 ・空知川 ・雨竜川
- ・幾春別川 ・夕張川

サブルート

- ・周辺道道及び市町村道



シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート

空知
シーニックバイウェイ
ルート運営代表者会議

ルート運営活動計画

空知
シーニックバイウェイ
体感未来道



まっすぐ続く道

冬のイルミネーションがきれい！

自然がいっぱい

空も飛べる

おいしい

寄り道が楽しい！

令和6年9月

未来の空知を思う。

空知地域は、エネルギー産業の合理化に伴い、急速な人口減少や少子高齢化の問題、教育や子どもの育成環境の地域格差など、日本が抱える様々な問題が散在しています。人口問題に関して言えば、空知管内の人口は1960年のピークから現在までで50万人以上も減少しており、現在もその減少は加速しています。日本にある792市の人口順位では、空知管内の自治体がワースト4（歌志内市、夕張市、三笠市、赤平市）を占めている状況です。また、空知地域の24の市町では学校の統廃合や地域イベントの縮小や中止、市民活用施設の廃止など、私たちが幼少期に経験できたことを今の子供たちには提供できない状況となりつつあります。良くも悪くも、経済政策による地方の急速な成長と運行に悩み、人口減少と急速な過疎化に伴う様々な地域課題のフロントランナーであると言えるでしょう。

しかし、フロントランナーであることには価値があります。

どのような時代でも同じようなことが言えるかもしれませんが、このような時代の正しい生き方や、俗にいわれる成功事例などは存在しません。日本が抱える問題ですら、都会と田舎でそもそもの考え方や危機感も様々で、格差が生じています。そのような中で、何もしないことによる結果だけは誰が考えても一つです。問題を解決するための行動に正解がないからこそ、取るべき行動や活動、求める答えも様々であり、失敗もなければ正解もないと言えるのです。

通信インフラ・イノベーションにより携帯電話やSNSなどの普及で多くの情報に溢れ、コロナ禍を経て人との繋がり方も大きく変化しました。歴史や文化、人々が捉える価値も急速に多様化が進む中で、本当に私たちが追い求めるリアルは「わたしの幸せの見つけ方」なのかもしれません。

- 「人口が少なくなるから不幸になるわけではない」
- 「都会ではなく田舎に生まれたから不幸わけではない」
- 「時代や必要とされる価値が変わることで、幸せが変化するわけではない」

だからこそ、空知シーニックバイウェイは活動を通じて人との「繋がり」や「関わり」を生み出し、「空知の幸せに気付いてもらえる」行動をしていきたいと考えています。空知の人を知り、空知の歴史や文化を知り、空知の美しい景色を知る。そのように空知の幸せを知っている方が、空知の幸せに気付くきっかけを伝える行動をする。そして、それらの行動理念を理解する仲間たちと共に、競争力のある新たな空知の価値（リアル）を生み出していくことこそが、私たちが行っていくべき活動であると考えています。

空知シーニックバイウェイ体感未来道ルート運営代表者会議 一同

「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-」の概要



～五感で「空ヲ知ル」～

空知シーニックバイウェイは、南北を貫く日本一の直線道路“国道12号”を軸に、石狩川流域に美しい田園風景が広がる内陸地帯です。サイクルツーリズム、川下り、空を旅するグライダー、歴史を学ぶ炭鉱遺産ガイドツアーのほか、農家レストランやカフェなど「五感で空知を知る」魅力的な体験が楽しめます。

地域の歴史・営みを感じる空知ingな景観づくり

地域を知ると見える景色が変わります。

歴史・成り立ちを大切に、景観資源を発掘し、伝えていきます。

ルーツを大切に、未来に繋ぐ空知ingな地域づくり

ひとつひとつの町に物語があります。

ルーツを知り、物語を紡ぐ 空知ノ物語の活動をはじめます。

暮らしに触れる、風土を学ぶ空知ingな観光空間づくり

地元子ども、観光客も、空知を“学び”のフィールドに。

“暮らし”と“学び”のツーリズム。空知ラーニングツーリズムを展開します。



ルートの活動状況

『そら★スタ』スタンプラリー



植栽・清掃・除草活動



フォーラム



空知シーニックバイウェイキャラバン

自治体と連携し、南・中・北空知の各エリアの景観・地域資源調査と意見交換を開始

【R5年度 実施箇所】

- 南空知：由仁町・栗山町・長沼町・南幌町
- 北空知：秩父別町・妹背牛町
- 中空知：国道12号 滝川市他

サイクルツーリズム



シーニックデッキ・カフェ&情報拠点



空知シーニックバイウェイのテーマと活動方針



テーマ・目標・基本方針 ※ ルート運営活動計画より抜粋

テーマ

五感で 「空ヲ知ル」

空知には、歴史や文化、田園風景、ブドウ畑など五感で感じる特別な空があります。
美しい大地と心に響く空を、地域の人々や子どもたち、訪れる人々に知ってもらうための心づくりをベースとした活動を目指します。

活動キャッチフレーズ

Let's 空知ing!!
(レッツ・ソラッチング)

= 仲良くなれる魔法の言葉

空知ingとは…

空知を知り、体験し、感じ、
空知の未来と繋がること

空：空知の空、空気、雰囲気、歴史

知：知る、体験する、感じる、
知り合う、繋がる

ing：動く「こと」、行動する、
続ける、進行形

活動目標

【景 観】

地域の歴史・営みを感じる
空知ing な景観づくり

【地 域】

ルーツを大切に
未来に繋ぐ
空知ing な地域づくり

【観 光】

暮らしに触れる
風土を学ぶ
空知ing な観光空間づくり

基本方針・活動内容

景観資源の発掘・磨き上げ[地域の成り立ちを大切に景観資源を発掘]

- ①ルート景観診断
・暮らしの景観調査
・シーニックデッキ（視点場）の発掘・登録
- ②地域の歴史・営みを感じる景観ポイントの発信
- ③景観美化活動（道路・河川等の清掃・除草・植栽、除雪）

空知ノ物語の収集・発信 [ルーツを知り、物語を紡ぐ]

- ①広報ツールの検討・情報発信（情報拠点・SNS等）
- ②ロード・地域PRマップの作成
・地域の歴史や文化、食や花、芸術、イベントに関する情報整理
- ③シーニックフォーラムの開催（地域創生フォーラム）
- ④道の駅と連携した地域づくり
- ⑤文化や歴史（炭鉱遺産等）・芸術・食と連携した地域づくり
- ⑥森林・農業資源を活用した教育プログラム

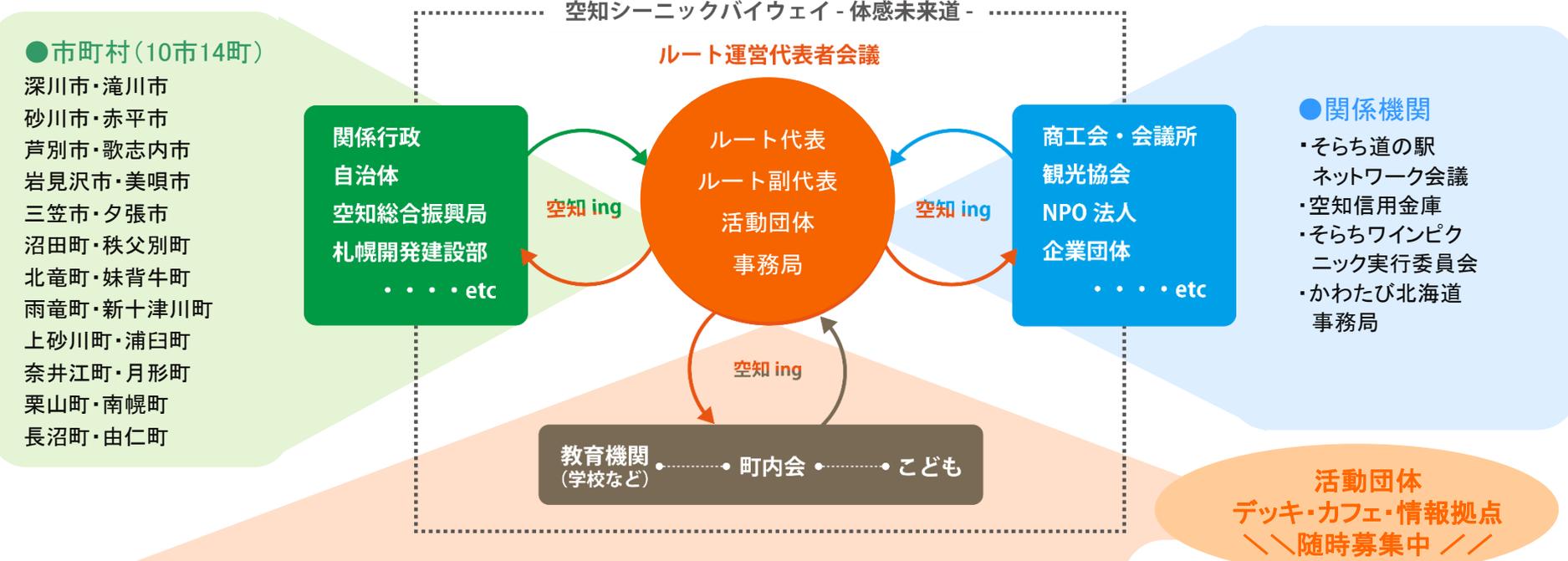
空知ラーニングツーリズムの展開 [暮らしと学びのツーリズム]

- ①ルートの寄り道・周遊促進
・道の駅と連携したスタンプラリーの実施
・シーニックカフェの発掘・登録（景色が良い・地域が味わえる）
- ②サイクルツーリズム
- ③ラーニングツーリズムの展開
・空知ヒストリー観光の実施検討
・ワイン街道観光の実施検討
・食観光の実施検討
- ④フラワーツーリズムの実施検討
- ⑤各種イベントとの連携

空知シーニックバイウェイの運営体制

ルートの運営体制

合言葉は、現在進行形(ing)で繋がり続ける”空知ingソラッチング”！！



- **ルート運営代表者会議 活動団体(22団体)**
- 代表: ①NPO法人日本一直線道まちづくり研究会
 副代表: ②そらちDEい〜ね
 副代表: ③(株)宝水ワイナリー
 副代表: ④(有)山崎ワイナリー
 副代表: ⑤NPO法人炭鉱の記憶推進事業団
 副代表: ⑥(一社)由仁町観光協会
 副代表: ⑦三笠ジオパーク推進協議会
 : ⑧一般社団法人北海道三笠観光協会
 事務局: ⑨(一社)空知建設業協会

- : ⑩石狩川下覧権
 : ⑪国道みまもりたい岩見沢
 : ⑫砂川レイクサイドの会
 : ⑬(株)アーチ・ヒーロー北海道
 : ⑭一般社団法人 そらちバイシクルプロジェクト
 : ⑮公益社団法人滝川スカイスports振興協会
 : ⑯星の降る里あしべつを復活させよう実行委員会
 : ⑰NPO法人ゆうぱりファンタ
 : ⑱(一社)総合型スポーツクラブSLDI
 : ⑲農猿
 : ⑳北竜町ひまわり観光協会
 : ㉑アイラブ・ロードあかびら推進協会
 : ㉒赤平ラブリバー推進協会

- **シーニックカフェ**
- ・たきかわスカイパーク カフェテリア リリエントール(滝川市)
 - ・菅野牧園(栗山町)
 - ・宝水ワイナリー(岩見沢)
 - ・インカルシ(長沼町)
 - ・CafeKALAMA(由仁町)
 - ・いたがきCafé(赤平市)
- **シーニックデッキ**
- ・当せん地展望台(新十津川)
 - ・砂川遊水地(砂川市)
 - ・奈井江大橋(奈井江町)
 - ・ひまわりベンチ(北竜町)※
- **情報拠点**
- ・道の駅ハウスヤルビ奈井江(奈井江)
 - ・炭鉱の記憶マネジメントセンター(岩見沢)
- ※: R6登録準備中の施設

下線はR6年度新たに参画した活動団体

アドバイザー会議 意見

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第六項の規定に基づき、
「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-」を指定ルートに推薦する。

■シーニックバイウェイ指定ルート

○優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性

- ・石狩川流域の広大かつ時に細やかな地形と市街地、そしてそれらを結ぶ道路や河川が織りなす独特で価値の高い風景は、空知地域ならではの大きな魅力である。石狩川の豊富な水資源に支えられた広大な水田や丘陵地の畑、一直線に続く農道など「北海道らしい」風景が広がる。歴史ある炭鉱関連施設、廃線跡、ワイン畑、穀倉を支える水田や農道などの農業インフラが点在し、これら豊富で独自性ある景観資源は、空知地域の大きな強みである。
- ・さらに、暑寒別天売焼尻国定公園や雨竜沼湿原といった自然資源も豊かで、四季折々の高山植物や野鳥観察が楽しめ、観光資源としての潜在力も高い。特に、ラムサール条約に登録された雨竜沼湿原は、希少な生態系と自然美が評価されている。
- ・日本遺産や北海道遺産に認定された炭鉱遺産も多く存在し、かつて日本最大の炭鉱地帯として栄えた歴史を伝える重要な資源である。「地域を知ると見える景色が変わります。」というキャッチフレーズの通り、地域の歴史や文化を伝えることで景観への関心が高まり、地域発展につながると期待される。

○活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進、地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取組、景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

- ・活動団体がルート運営活動計画の主導的な推進役を担っており、地域全体の魅力向上に積極的に取り組む姿勢がうかがえる。
- ・行政と連携した「シーニックキャラバン」による景観や資源の調査は、継続することで地域協力体制の強化が図られ、景観資源の質的向上への貢献が期待できる。
- ・シーニックデッキやカフェの普及による地域住民の誇りを育む取り組みや見・香・聞・食・撮の五感で地域の様々な資源を「空知ing」というコンセプトは、今後のビジネス化や地域のブランド価値向上に大きく寄与するものと考えられる。
- ・一方、10市14町という広大なエリア設定は、ルートの魅力でもあり、統一的なブランド化という点では難しさでもある。基本方針にもある「物語を紡ぐ」という観点から本エリアのブランド化（観光客などがイメージできるエリア）に期待する。
- ・地域の歴史的資源を深く掘り下げ、炭鉱遺産など歴史的価値を未来へ伝え、地域の魅力を発信できる人材の育成も重要である。ブランド価値の共有を徹底し、地域づくりに望んでほしい。シーニックバイウェイの取り組みとしての「空知ブランド」の醸成こそ地域の活性化に寄与するものと考えたい。モビリティーツーリズムの視点を色濃く演出し、空知管内の移動が楽しい、移動と考えたいそのものを旅の醍醐味とするプランの構築に期待したい。

○今後の期待

- ・登録がゴールではなく、スタートである。これまで長年かかってここまで漕ぎつけられ、ほっとされていると推察するが、思いを新たに更なる高みを目指していただきたい。
- ・人口減少への対応と地域活性化が空知における特に大きな課題であると思うが、第9期の北海道総合開発計画との連携・協働も視野に入れてこの課題に取り組んでいただきたい。

アドバイザー会議 審査結果

空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

審査の視点	視点1					視点2	視点3	視点4	シーニックバイウェイルート指定の推薦の可否	
	国内において優位性が認められる主な地域資源								活動団体の主導的な推進	地域の魅力向上への取り組み
審査委員	景観	自然	文化	歴史	レク					
A	○	○	-	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	推薦に当たっての条件はないが、以下に今後に向けての期待を述べたい。 ・登録がゴールではなく、スタートである。これまで長年かかってここまで漕ぎつけられ、ほっとされていると推察するが、思いを新たに更なる高みを目指していただきたい。 ・人口減少への対応と地域活性化が空知における特に大きな課題であると思うが、第9期の北海道総合開発計画との連携・協働も視野に入れてこの課題に取り組んでいただきたい。
B	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	広大なエリア設定であるにもかかわらず、地域の資源・英知を結集したルート運営活動計画における熱意は大変なものだと感じる。 多岐にわたる活動が過度ではないのか？との心配もありますが、これまでの実行力から持続可能な形が模索されるものと期待し、推薦をいたします。
C	○	-	○	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	シーニックバイウェイの事務局は、それぞれの参加団体の活動の研鑽を促し、情報共有に努めるのももちろんのこと、新規の参加者を増やし活動の活性化、地域が一丸となって目的を達成することへのリーダーシップを発揮してほしい。「空知ブランド」の醸成こそ活動の輪が広がり目標達成のポイントである。一層の活動を期待する。
D	○	-	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	
E	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	空知エリアならではの優れた景観資源および炭鉱歴史等の地域資源の優位性が認められると共に、これまでの関係者との検討により、若い世代のメンバーを含む体制づくりが進められており、シーニックバイウェイルートとしてより良い地域づくりに繋げていくステージに至っていると考える。空知の風景を五感全体で体感してもらおうというコンセプトは申し分ないが、多種多様な地域をどのようにまとめていくかは重要な課題になると思われる。デジタル技術の活用等も視野に入れながら、空知らしいシーニックバイウェイの展開を期待する。
F	○	○	○	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	空知シーニックバイウェイは、年々その活動の幅を広げ、地域、行政、そして各団体が一体となって取り組んでいることが顕著に見受けられる。文面に示されている通り、このバイウェイは、日本一の直線道路である国道12号を軸に、石狩川流域の広大な田園風景が広がる内陸地帯を貫いている。そこで得られる景観、歴史、文化、自然のすべてが、この場所ですら体験できない特別なものであると感じられる。 加えて、空知シーニックバイウェイは、SNSや地域PRマップ、講演会やセミナーなどを通じて、積極的に情報を発信し、多方面でのイベントを行い、活動をさらに広げている。その結果、活動への関心を持つ人々が年々増加し、空知の注目度も高まっている状況である。 また、空知シーニックバイウェイの活動理念である「人との繋がりがり」や「関わり」を生み出し、「空知の幸せに気付いてもらう」という目標に強く賛同している。このような意義深い取り組みを踏まえ、今回、空知シーニックバイウェイを新たにシーニックバイウェイルートとして推薦することで、シーニックバイウェイ北海道全域のさらなる発展に貢献できることを期待したい。
G	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	これだけの準備をされて、シーニックバイウェイに望まれる、その熱量と実現力に敬意を表したいと思います。本当に素晴らしいと思います。これまでのさまざまな取り組みが、シーニックバイウェイで示されている1つの方向性に集約される形なのかなと感じました。 ただ方針含め、取り組みもエリアも広大なもので、これらを取りまとめていくというのは大変に難しいことだろうとも同時に思っており、どのように進められていくのかも大変興味深いところです。

※視点

1. 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性
2. 活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進
3. 地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取り組み
4. 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

シーニックバイウェイルート指定について（案）

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

■指定ルート

ル ー ト 名：空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

関係市町村：沼田町、秩父別町、深川市、妹背牛町、滝川市、赤平市、
歌志内市、上砂川町、奈井江町、芦別市、美唄市、三笠市、
夕張市、由仁町、長沼町、南幌町、栗山町、岩見沢市、
月形町、浦臼町、砂川市、新十津川町、雨竜町、北竜町

提 案 者：空知シーニックバイウェイルート運営代表者会議